

2024 年度共通教育科目 FD 活動報告

共通教育委員会委員長

南川 和充

■宗教科目(宗教教育委員会)

➤ 宗教科目担当者 FD 懇談会の実施

2024 年度宗教科目 FD 活動方針・活動計画に基づいて、科目担当者懇談会を 2025 年 2 月 20 日に Zoom にて実施した。事前に教材・資料の提出を依頼して配付、もしくは当日資料を画面共有していただいた。まず一人ずつ自身の①授業運営について②現状・今後の課題について発表していただき、一人の発表ごとにその内容についての感想・質問・疑問・助言などをほかの担当者から順番に意見を伺い、意見交換を行った。

(参加者 11 名)

授業運営については、各教員とも様々な工夫をしていることが紹介された。また今回は評価方法、出欠の取り方についての話題が中心となり、活発な意見交換が行われた。現状の方法および問題点や課題点を共有し、より良い方法を採用するための意見交換が行われ、授業運営の発展につながるものであった。試験方法やレポートの出し方・内容などの共有もあり参考になる意見も多かった。また、新規の科目担当者も参加し、スムーズな授業運営を始められる一助となった。今後も各担当者間の連携を深め、問題解決およびより良い授業運営に向けた取り組みとなるよう引き続き実施していきたい。

➤ 宗教論受講生対象講演会におけるアンケートの実施

この講演会はキサラ学長による学長講演会であり、1 年生の必修科目である「宗教論」受講生全員を対象とした講演会である。今年度は「カトリック大学で学ぶ意味を考える」という演題で、各クォーターに 1 回ずつ、計 4 回の講演会を開催した。その際、アンケートを PORTA アンケート機能にて実施しており、出席者全員から回収している。アンケート内容は、講演内容に対する評価、南山大学で学ぶ意味について、宗教に関する疑問・意見など自由記述できる設問を設け、回答内容を集約したものを科目担当者や学長の間で共有を行った。入学したばかりの 1 年生に意識づけができ、また、全履修者の内 7～8 割ほどの回答を得られ、宗教科目授業運営の発展のための資料とすることができた。

講演会日時：

【Q1】 2024 年 5 月 8 日 (水) 13:35～15:15

【Q2】 2024 年 6 月 26 日 (水) 13:35～15:15

【Q3】 2024 年 9 月 25 日 (水) 13:35～15:15

【Q4】 2024 年 11 月 27 日 (水) 13:35～15:15

■体育科目・スポーツ科目（体育教育センター）

今年度は、更衣室の運用について、学事第一課、学生課（主に SSR）との連携を強化した。入学者への貸与ロッカー不足問題に対応するとともに、メインアリーナ前の更衣室の全面的な利用について、安全ならびに衛生管理について検討し運用を開始した。また新種目（陸上）を開講した。体育科目全体の質的向上を目指し、専任教員と非常勤講師の意見交換・情報共有の場として体育科目懇談会を実施し、意見交換・情報共有を行った。FD 研修会については、2025 年 2 月 18 日 9:30～12:00 に T310（体育センター3 階合研）において、クォーター制への移行後、学校保健法において出席停止対象となる疾病を理由とする欠席過多やグレードダウンについて、これまでの相談事例をふまえて議論し、公平性を保持したうえでの適正な対応について検討した。また、ティームティーチングにおける評価の公平性、合理的配慮学生、体育実技への配慮学生への対応として、オンラインの利用を含め、開講種目の可能性について議論した。

■情報倫理・情報科目（情報センター）

以下のとおり FD 研究会を実施した。

- ・ 2025 年 3 月 18 日（火）14:00-14:45（オンライン）
- ・ 2025 年度「情報倫理」科目担当者 10 名
- ・ 内容：2025 年度に向けての確認事項

2025 年度の「情報倫理」も e-learning と対面授業を組み合わせた従来通りの方式で実施することを確認した。グループディスカッションと発表を中心とするアクティブラーニング形式の授業の効果的な実施に向けて、以下の項目について意見交換を行った。

- ・ 生成 AI の利用
- ・ グループワークへの取り組み方、積極的ではない学生への対応

■「人間の尊厳」科目（人間の尊厳科目委員会）

2024 年 12 月 16 日 17:30～18:30 に対面形式で「人間の尊厳」科目担当者による「人間の尊厳科目 FD 懇談会」を実施し、15 名が参加した。

懇談会では、まず新設された人間の尊厳科目のディプロマポリシーの内容およびシラバスへの反映に関する説明が行われた後、懇談会参加者から担当する人間の尊厳科目の授業における経験談や困難に感じている点についての共有や、次年度より初めて講義を担当する教員から講義内容等についての疑問点が挙げられ、それらに関して様々な意見交換が行われた。また、人間の尊厳に興味や理解の薄い学生に対してもわかりやすく関心を持てる講義にするためのアプローチについても意見交換を行った。

なお、懇談会の中では各担当者の講義内容も分かち合われたが、それらがそれぞれの専門からの非常に興味深いアプローチであったため、出席者の一人からは、こうした内容を『アカデミア』で特集を組み、大学内で分かち合えないかという提案があった。

■基盤・学際科目（基盤・学際科目委員会）

基盤・学際科目の特徴や各科目間の関係についてまとめた『2025年度基盤・学際科目案内』を作成し、大学ウェブサイトの教務案内ページに掲載した。この科目案内の作成をととして、各コーディネーターは基盤・学際科目についての理解を深めることにつながるるとともに、コーディネーターと授業担当教員、コーディネーター同士の連携が促進された。

また、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に係る自己点検・評価の一環として、2024年度に開講した学際科目「データサイエンス入門」の授業担当者によるFD研修会を実施した。開講初年度における各クラスでの授業実施状況や教材等の共有、次年度に向けての授業方法の検討や改善点等の意見交換が行われ、当該科目の改善・進化に向けた検討を行う有意義な機会となった。

■キャリア教育科目（キャリア支援委員会）

1. 1-1. 「就業実践研修Ⅱ」報告会

キャリア科目「就業実践研修Ⅱ」報告会を2回実施した。就業実践研修実習に参加した学生が各教室に分かれて成果を報告した（一人あたり発表10分、質疑応答5分の計15分）。キャリア支援委員は各教室にて司会進行を務め、学生に対するフィードバックを行った。また、受入企業・機関の参加もあり、実習および発表に関する学生への感想や助言をいただく機会ともなった。詳細は、以下のとおりである。

① 2024年5月8日（水）15：45～17：05、学生（発表者）：25名（6教室）

② 2024年10月9日（水）13：50～15：00、学生（発表者）：19名（5教室）

1-2. 「就業実践研修」意見交換会

上記報告会后に、実習受入企業・機関（12企業・機関、17名）およびキャリア支援委員、キャリア支援課スタッフ、科目担当講師（「就業実践研修Ⅰ・Ⅱ」担当）との意見交換会を実施した。内容としては、大学から受入参加企業・機関への学生受入れに対するお礼、参加企業・機関からは実習の実施状況や改善点について意見、要望等を伺い、双方意見交換する場となった。また、今年度から科目が「インターンシップ研修Ⅱ」から「就業実践研修Ⅱ」に名称変更したことの説明を行った。

2. 2024年11月26日（火）4限に、2024年度FD・SD研修会『『過年度卒業生および就職先企業へのアンケート』結果報告ーキャリア教育・教学マネジメントにどう活かせるかー』を対面とオンラインのハイブリッド形式で実施した。この研修会は、アンケート結果を教職員で共有し、本学の教育活動等の改善、向上につながる検討を行っていくことを目的としている。研修内容として、2024年5月に実施した同アンケートの実施目的・結果および分析結果についてキャリア支援課長およびキャリア支援委員会副委員長（キャリアサポート担当）よりそれぞれ説明していただいた後に副学長（学務担当）より教学マネジメント推進に関する説明および講評をいただいた。当日の参加者数は27名（教員6名、職員21名）だった。

■海外研修科目（国際センター）

2025年3月6日（木）に開催された国際センターFD・SD講演会「南山大学の国際化の新たな展開 ～グローバル戦略センターの役割とは～」（講師：山岸敬和国際センター長）に、科目担当者が参加し、南山大学のグローバル化について意見交換を行った。

■外国語科目（外国語教育センター）

外国語教育センターでは2024年度にFD研修会を英語教育部門で2回、初習外国語教育部門で1回行った。

英語教育部門では、上級語学講師（S.L.I.）が中心に、春学期に実施してきた授業運営方法について、成功・失敗例を共有し、秋学期の授業運営に役立てる企画（2024年9月）と、秋学期の授業運営についても2025年に活用するための企画（2025年2月）を実施し、専任教育職員に加え非常勤講師も参加した。

初習外国語教育部門では、円滑な授業運営のための情報共有を目的として、副センター長および各言語を担当する語学講師（L.I.）がそれぞれの授業運営上の工夫や問題点について報告して情報を共有したほか、新しい教科書を採用した部門では指定教科書を使っていかに学生に対して効果的な授業を展開するかについて議論した（2024年7月）。

以 上